

## ロールプレイケース：40代

### <クライアントの状況>

**新井 良子(あらい りょうこ):45歳 女性 私立四年制大学 経済学部 経済学科 卒業**  
**相談時期:2月**

**相談内容:** 新井さんは大学卒業後、新卒で中堅の機械メーカーへ就職し、現在は総務部の係長。今年で23年目の女性社員。女性活躍推進法の影響を受け、自分の会社では2年前から女性の管理職登用が積極的に展開されるようになった。今はまだ、自分の同期の女性社員全員が課長(管理職)になったわけではないが、自分は昨年につき2回目のチャンスをいただいたにも関わらず、今年も課長になることができなかった。学生時の就職活動では、文系ながらも日本の自動車産業の発展に関わりたいと「ものづくり」を行うメーカーに業界を絞って活動していたが、就職氷河期の影響を受けたのか、ことごとく採用には至らず、悔しい思いをしながらも人間関係の良さそうなこの会社へと入社することができた。働き始めた頃は従業員数も今より少なかったため、社長との距離も近く、アットホームな雰囲気の中で働くことができ毎日楽しかった思い出がある。自分は同期の中でも一番早く主任へ昇進させてもらうことができたので、仕事にはやりがいも持たせてもらえ、その部分では会社に感謝をしている。この会社で働いている中で、プライベートでは結婚をして退職をする機会もあったが、自分の仕事が楽しくて仕事をやめたくないと断ったことをきっかけに破談となり、その後は残念ながら結婚する機会に恵まれず、現在も独身で仕事を続けている。自分は何よりもこの会社での仕事が好きで、今も会社のためと思って仕事をしているつもりだが、評価してもらえていないのか昇進できずにいるため、その理由を知りたい。2年前に営業から総務へ異動し、今はいわゆる社内の「何でも屋」的な存在であるので、評価基準があいまいになっているのではないかと会社を疑うような気持ちにもなってきた。資格取得をしている社員は順調に課長へと昇進しているのに自分は不器用なのか、総務部へ移ってから勉強を始めた第一種衛生管理者の試験に落ちてしまった。このままでは自分の後輩社員にも恰好がつかないので、どうしたら良いか分からなくなっている。

※設定以外のことを聞かれたときには、ご自身で考えて展開してください。

### <メモ>